

127 番の歌 私はどんな人になるべきだろうか

付き合っている 2 人ができること

「内面[は]とても価値があります」。[ペテロ第一 3:4](#) 自分の内面(*内面の人つまり心)を飾りとしましょう。

物静かで温和な精神という朽ちない飾りです。それは神から見てとても価値があります。

ポイント：①付き合っている 2 人は良い決定をするためにどんなことができるか、また、
②会衆の仲間はどのようにサポートできるかを考えます。

1-2. 付き合うことについて、あるたちはどんなふうに感じていますか。

誰かと付き合うと、うれしくて胸がときどきするものです。もし今付き合っているなら、その時間を楽しいものにしたいと思っていることでしょう。多くの兄弟姉妹は実際に楽しい時間を過ごしています。エチオピアのシーヤン姉妹は、付き合っていた頃を思い返してこう言っています。
一部の名前は変えてあります。「すごくいい時間でした。真面目な話もしましたが、よく笑いました。大好きな人が自分のことを好きになってくれていると考えると、とても幸せな気持ちになりました」。

2一方、オランダのアレッシオ兄弟はこう言います。「付き合っている時、相手のことを知るのはとても楽しかったですが、2人で乗り越えないといけないこともあります」。この記事では、①付き合っている時に起きるかもしれない問題や②役立つ聖書の言葉を考えます。会衆の仲間が、付き合っている 2 人をどうサポートできるかも学びます。

付き合うのは何のため？

3. 付き合うのは何のためですか。（[格言 20:25](#)）

3 誰かと付き合うのはとても楽しいことですが、それは結婚につながるかもしれない大切なステップでもあります。結婚式の日、2人は生きている限り互いを愛し、敬意を示し合うことをエホバに誓います。どんな誓いをする場合でも、その前に注意深く考えることが必要です。（[格言 20:25](#) 「これは聖なるものです」と性急に言った後で、誓約した事について考慮するのは、わなとなるを読む。）結婚の誓いについてもまさにそういうことです。結婚する前に付き合うことで、互いのことをよく知り、良い決定することができます。結婚するという決定もあれば、付き合うのをやめるという決定もあるでしょう。たとえ別れることになったとしても、失敗ではありません。結婚すべきかどうかを見極めることができたのですから、良い決定ができたといえます。

4. 付き合うことについて、私たちみんなが正しい見方を持つ必要があるのはどうしてですか。

4 付き合うことについて正しい見方を持つことが大切なのはどうしてですか。そうできているなら、独身の人は結婚するつもりがないのにデートをしたりすることはないでしょう。正しい見方を持つ必要があるのは独身の人だけではありません。私たちみんながそうすべきです。中には、付き合ったら結婚するものだと決め付ける人たちがいます。このような見方について、独身のクリスチャンはどう感じているでしょうか。米国のメリッサ姉妹はこう言います。「付き合っている2人は、周りの兄弟姉妹からプレッシャーを感じことがあります。それで、関係がうまくいくついていないのに付き合い続けてしまう人や、そもそも付き合い始めるのをためらってしまう人もいます。そういうプレッシャーって結構大変なんです」。

互いをよく知る

5-6. 互いにどんなことを知る必要がありますか。 ([ペテロ第一 3:4](#))

5 今付き合っているなら、結婚するかどうか決めるのに何が役立ちますか。互いをよく知ることです。もちろん、付き合い始める前から相手のことをいくらか知っていたでしょう。でも、今はその人の「内面」をよく知る必要があります。 ([ペテロ第一 3:4](#) 自分の内面(*内面の人つまり心)を飾りとしましょう。物静かで温和な精神という朽ちない飾りです。それは神から見てとても価値がありますを読む。) 自分の夫や妻になるかもしれない人がエホバとどれほど強い絆を持っているか、どんな性格や考え方をしているかをもっと知るようにしましょう。やがて次のようなことがはっきり分かってく るはずです。「この人は自分にとって良い結婚相手といえるだろうか」。 ([格 31:26, 27](#) 口を開く時には賢く語り、いつも親切の律法に従って話す(*教える時には親切に話す/舌には搖るぎない愛の律法がある)。 27 家で行われる物事を見守り、働く間にパンを食べることはなく、[30](#) 麗しさは時に偽りで、美しさもまたはかない(*むなし)が、エホバを畏れる女性は称賛される。[エフェ 5:33](#) ともかく、夫の皆さんはそれぞれ、自分を愛するよ うに妻を愛さなければなりません。一方、妻は夫を深く敬うべきです。[テモ一 5:8](#) もしもある人が、自分の家族、特に一緒に住んでいる人たちに必要な物を与えないなら、クリスチャンの信条を否定していることになり、信仰のない人より悪いといえます) 「お互いが必要としている愛情や関心を示せるだろうか。お互いの欠点を受け入れられるだろうか」。[*](#) ほかにも考えるとよい点については「[若い人が尋ねる質問 — 実際に役立つ答え](#)」第2巻39-40ページ(権威の用い方、目標、家族への接し方、友達、話題、金銭への見方や使い方、娯楽、勤勉、評 判、思いやり、怒りっぽさ、しつと深い、自己中心的、不品行)を参照。 ([ロマ 3:23](#) 全ての人は罪人になったので、神の栄光に達することができません) 覚えておきたい点があります。似ているところがあるからといって相性がいいとは限りません。大切なのは、互いの違いにどれほど合わせられるかです。

6 ほかにも互いについてどんなことを知る必要がありますか。気持ちが高まり過ぎる前に、将来の目標など大切なことについて話し合っておきたいと思うでしょう。では、健康やお金に関する問題やトラウマになっていることなど、プライベートな点についてはどうでしょうか。付き合ってすぐに全部話す必要はありません。 ([ヨハネ 16:12](#) あなたたちに言うべきことがまだたくさんあります が、あなたたちは今はそれを理解できません(*に耐えられません)と比較。) まだ話したくないと思う点については、そう思っていることを相手に伝えましょう。でも、バランスの取れた良い決定をするためには、こうした情報をいつかは話す必要があるでしょう。

7. どうすれば互いを知ることができますか。 (「[遠距離の場合](#)」の囲みを参照。) (写真も参照。)

7 どうすれば互いの内面をよく知ることができるでしょうか。本当の気持ちを話し、質問し、よく聞きましょう。(格 20:5)人の心の考え(*意図)は深い所にある水のようだ。識別力のある人はそれをくみ上げる。ヤコ 1:19私の愛する兄弟たち、覚えておいてください。皆が、人の言うことに進んで耳を傾けるべきです。すぐには話をしたり、すぐに怒ったりしてはなりません) 会話を楽しみながら行えることを一緒にするのは良い方法です。例えば、人目がある所で一緒に散歩したり、食事をしたり、伝道したりすることができます。家族や友達と過ごす時にも互いを知ることができます。相手がいろいろな場面で人にどう接するかに注目するようにしましょう。オランダのアシュウイン兄弟は、アリシア姉妹と付き合っていた時のことについてこう言っています。「いろんな機会にお互いをよく知るようにしました。一緒に食事を作ったり日常のちょっとしたことを行ったりするだけでも、お互いの長所や短所が見えてくるものです」。



会話を楽しみながら何かと一緒にするなら、互いをもっとよく知ることができる。(7-8 節を参照。)

遠距離の場合

付き合っている人が遠くに住んでいる場合、ビデオ通話や電話をする時にも、この記事で学んだことが役立ちます。互いに自分の気持ちを率直に話し、相手の話をよく聞きましょう。とはいえ、直接会って時間を過ごさないとなかなか知ることができない事もあります。それで、できる時には会いに行くようにしましょう。ほかにも考えておくといいことがあります。相手の国や地域に引っ越したり、違う言語や文化に順応したりする必要がある場合、喜んでそうできるでしょうか。付き合っている間に相手に会いに行くための費用や、結婚後、相手の家族や友人を訪ねるための旅費をやりくりできるかどうかも考えましょう。(ルカ 14:28)例えば、塔を建てようと思う場合、まず座って費用を計算し、完成させるだけのものを持っているかどうかを確かめるのではないでしょうか)

8. 付き合っている 2 人が一緒に聖書を学ぶと良いのはどうしてですか。

8 一緒に聖書を学ぶのも、互いのことを知る良い機会になります。結婚すると、家族の崇拜のための時間を取り分ける必要があります。夫婦としてエホバに仕えることを大切にするためです。(伝 4:12)人なら誰かに打ち負かされるかもしれない。しかし 2 人なら立ち向かえる。三つよりの綱は素早く(*簡単に)断ち切ることができない) それで付き合っている時から、一緒に研究する時間を予定に含めるのはとても良いことです。もちろん 2 人はまだ家族ではありませんし、兄弟は姉妹の頭ではありません。とはいえ、定期的にそういう時間を取りながら、相手がエホバとどんな絆を持っているかを知ることができます。米国のマックス兄弟とリーサ姉妹はやってみて良かったことについてこう言っています。「私たちは付き合い始めてすぐ、デートや結婚、家族生活について出版物を調べ

て話し合うようにしました。そうすることで、話題にしにくい大切なことをいろいろ話すきっかけができました」。

ほかにも考えたいこと

9. 付き合っていることを誰に伝えるかを決める時に、どんな点を考えることができますか。

9 **付き合っていることを誰に伝えるか。** これは2人が決めることです。付き合い始めたばかりの時は、あまり多くの人に伝えないようにしたいと思う人もいます。（[格 17:27 知識のある人は言葉を控え、識別力のある人は冷静さ\(d*気の冷たさ\)を保つ](#)） そうすることで、いろいろ質問されたり、プレッシャーを掛けられたりせずに済むかもしれません。でも、ほかの人に知られたくないと思って誰にも伝えないとしたら、誰からも助けてもらえないくなってしまいます。それは危険なことです。それで、良いアドバイスやサポート(*内密の話し合い)をしてくれそうな人たちに伝えておくのは良いことです。（[格 15:22 相談\(*内密の話し合い\)をしないと計画は失敗し、助言者が多ければ達成される](#)） 例えば、家族や信頼できる友人や長老たちが助けになってくれるかもしれません。

10. 付き合っている間も、どうすればエホバに喜ばれる行動ができますか。（[格言 22:3](#)）

10 **付き合っている間もどうすればエホバに喜ばれる行動ができるか。** 親しくなると互いに引かれ合うのは自然なことです。そういう時もどうすればエホバに喜ばれる行動ができるでしょうか。（[コリー 6:18 性的不道徳\(c*ギ語ポルネイア\)から逃げ去りなさい！ほかの罪はどれも人が自分の体の外で犯すものですが、性的に不道徳な行為をする人は自分の体に対して罪を犯しているのです](#)） お酒を飲み過ぎたり、2人きりになったり、不道徳な内容の会話をしたりしないようにしましょう。（[エフェ 5:3 性的不道徳\(c*ギ語ポルネイア\)や、あらゆる汚れや貪欲については、皆さんの間で口に上ることさえあってはなりません。聖なる人として正しく振る舞うためです](#)） そうしたことになると、気持ちが高まってしまい、正しいことをしたいという決意が弱まることがあります。互いを大切にし、エホバの基準を守るために何ができるか定期的に話し合うことは助けになります。（[格言 22:3 聰明な人は危険に気付いて身を隠すが、経験のない人们は進んでいって当然の報い\(*罰\)を受けるを読む。） どんなことが役に立ったか、エチオピアのダウイト兄弟とアルマズ姉妹はこう言っています。「人がたくさんいる所や周りに友達がいる所で一緒に時間を過ごすようにしました。車や家の中で2人きりになったことはありません。そのようにして、気持ちが高まってしまうようなシチュエーションを避けました」。](#)

11. 愛情表現の仕方について話し合う時、どんなことを考えられますか。

11 愛情の表現についてはどうでしょうか。親しくなるにつれて適切な仕方で愛情を表現したいと思うようになるかもしれません。でも、感情が高まると相手への接し方について冷静な判断をするのは難しくなるでしょう。（[ソロ 1:2 あなたが口づけしてくれるといいのに。あなたの愛の表現はぶどう酒よりも素晴らしい; 2:6 あの人は左手で私の頭にそっと触れ、右手で私を抱き締める](#)） 愛情の表現に歯止めが利かなくなつて、エホバが悲しむことをしてしまうかもしれません。（[格 6:27 懐に火をかき集めておいて、服が燃えないようにできるだろうか](#)） それで、付き合い始めて早いうちにエホバの基準について話し合い、愛情の表現の限度をはっきり決めておくようにしましょう。* [相手の性器を刺激することは](#)

性的不道徳に含まれ、会衆の長老たちは審理処置を取る必要があります。胸を触ることや、メッセージや電話で性的に不道徳な内容の会話をすることも、状況によっては審理処置が必要になります。（テサ 4:3-7 神は、皆さんが聖なる者となり、性的不道徳(c*ギ語ポルネイア)を避けることを望んでいます。4 皆さん一人一人は、聖なる者として品位を保てるよう、自分の体(d*器)をどのように制するかを知っているべきです。5 神を知らない人々のように、貪欲で奔放な性欲を抱いてはなりません。6 誰もこの点で、不適切なことをして(*制限を超えることによって)兄弟に害を及ぼしてはなりません。私たちが以前に皆さんに伝え、強く警告した通り、エホバ(*)はこうした事柄全てに対して処罰を下すからです。7 神が私たちを招いたのは、私たちが汚れた者ではなく聖なる者となるためです）次の点を話し合ってください。「自分たちの愛情表現の仕方を見て、周りの人はどう思うだろうか。そうした愛情表現がきっかけで、自分や相手の感情が良くない方向に進んできたりしないだろうか」。

12. 意見が合わない場合、どんな点を考えることができますか。

12 意見が合わない場合どうすればいいか。時々意見が合わないことがあるなら、それは2人の関係がうまくいっていないということでしょうか。必ずしもそうではありません。みんな意見は違うものです。互いの意見を尊重し、相手に進んで合わせるなら、絆の強い夫婦になれるでしょう。それで、交際中にぶつかる問題にどう取り組んでいるかによって、結婚生活がうまくいくかどうかが見えてくるかもしれません。2人で次の点を考えてみましょう。「問題について穏やかに敬意を込めて話し合っているだろうか。欠点を素直に認めて改善しようとしているだろうか。進んで譲ったり謝ったり許したりしているだろうか」。（エフエ 4:31, 32 あらゆる悪意、怒り、憤り、わめき、暴言など、一切の有害な事柄を捨て去ってください。32 親切な人になり、温かい思いやりを示し合い、神がキリストによって寛大に許してくださったように、寛大に許し合いましょう）付き合っている時に、意見が合わなかつたり言い合いになったりすることがしょっちゅうあるなら、結婚した後もそれは変わらないかもしれません。もし自分にとってその人はふさわしくないと気付いたなら、別れるのが2人にとって一番良い場合もあります。* 「ものの塔」1999年8月15日号の「読者からの質問」も参照。

13. 付き合う期間について、どんなことを考えるといいですか。

13 どれくらいの期間付き合えばいいか。急いで決定すると、良くない結果になることが少なくありません。（格 21:5 勤勉な人の計画は必ず成功(*良いこと)につながり、せっかちな人は必ず貧乏へと向かう）それで、相手をよく知るために十分な時間をかけましょう。とはいえ、必要以上に長引かせないようにしましょう。聖書にも「期待がなかなか実現しないと落ち込む」とあります。（格 13:12 期待がなかなか実現しないと落ち込むが、かなえられた望みは命の木である）また、関係が深まると、性的な衝動を抑えにくくなるかもしれません。（コリー 7:9 しかし、自制できないなら、結婚しなさい。情欲に燃えるよりは結婚する方がよいからです）それで、大切なのは付き合う期間の長さではありません。「結婚するかどうかを決められるほど、相手を十分に知ることができているだろうか」と考えましょう。

周りの人はどのようにサポートできるか

14. 周りの人はどのようにサポートできますか。（写真も参照。）

14 付き合っている2人を、周りの人はどのようにサポートできるでしょうか。食事や遊びや家族の崇拜に誘うことができます。（ロマ 12:13 困っている聖なる人たちと分け合ってください。人をもてなすことには努めましょう） そうした機会に2人は互いのことをもっとよく知れるでしょう。ほかにも、付き添いをしたり、車に同乗したり、家に呼んで2人がゆっくり話せるようにしてあげたりすることもできます。（ガラ 6:10 ですから、機会がある限り、全ての人に、特に同じ信仰を持つ兄弟姉妹に、善いことを行いましょう） 先ほど出てきたアリシア姉妹は、アシュウィン兄弟と付き合っていた時にありがたく感じたことについてこう言っています。「『2人で話す場所が必要な時は、私たちがいるからうちに来てね』と兄弟姉妹が言ってくれて、とてもうれしかったです」。付き添いを頼まれたなら、仲間をサポートできる貴重な機会だと考えましょう。2人きりにならないよう気を付けつつ、2人が落ち着いてプライベートなことを話せるようにしてあげることも大切です。（フィリ 2:4 自分のことばかり考えずに、他の人のことにも気を配りましょう）



周りの人は、付き合っている2人をいろいろな方法でサポートできる。（14-15節を参照。）

15. ほかにもどのようにサポートできますか。（格言 12:18）

15 周りの人は、何を言って何を言わないかにも気を配りましょう。自制が必要な時もあります。（格言 12:18 心ない(*軽率な)発言は剣のように突き刺し、賢い人たちの舌は人を癒やすを読む。） 例えば、誰かが付き合い始めたことをほかの人に言いたくなることがあるかもしれません。でも、本人たちは自分で伝えたいと思っているかもしれません。周りの人は、付き合っている2人についてうわさしたり、個人的な事柄について批判したりすべきではありません。（格 20:19 中傷する人は内密のことを漏らして回る。うわさ好きの(*唇で誘う)人と交友を持ってはならない。ロマ 14:10 それなのに、あなたはなぜ兄弟を批判するのですか。なぜ兄弟を見下すのですか。私たちは皆、神の裁きの座の前に立つことになります。テサー 4:11 私たちが指示した通り、穏やかに暮らし、人に干渉せず、自ら働くことに努めてください） 結婚しないといけないというプレッシャーを掛けるようなことを言ったり聞いたりすべきでもありません。エレーザ姉妹と夫は振り返ってこう言っています。「まだそこまで話が進んでいないのに、ほかの人から結婚式の計画について聞かれた時は、とても気まずく感じました」。

16. 2人が別れた場合、周りの人はどんなことを心に留めておくことができますか。

16 もし2人が別れることにしたなら、詮索したり、どちらかの肩を持ったりしないように気を付けましょう。（ペテー4:15 皆さんの誰も、殺人や盗みや悪い行いをしたり、人のことに干渉したりして、苦しむことになってはなりません）レイア姉妹はこう言います。「付き合っていた兄弟と別れた時、その理由についていろいろわざされているのを聞きました。本当に傷つきました」。先ほど考えたように、別れることが失敗というわけではありません。結婚すべきかどうかを見極められたのですから、付き合ったことには大切な意味がありました。それでも、傷ついた気持ちを引きずったり寂しく思ったりするかもしれません。それで、周りの人は優しくサポートしてあげましょう。（格17:17 真の友はどんな時にも愛を示す。苦難の時に頼れる兄弟である）

17. 付き合っている2人はこれからもどんな点で努力できますか。

17 これまで考えた通り、交際期間は乗り越えないといけないことがいろいろありますが、楽しい時間でもあります。ジェシカ姉妹はこう言っています。「正直言って、付き合うというのは簡単なことではありません。でも、時間やエネルギーをかけて本当に良かったと思います」。もし今誰かと付き合っているなら、互いをよく知るためにこれからも努力を続けてください。そうするなら、2人にとって良い決定をすることができるでしょう。

どんなことを学びましたか

1. 付き合うのは何のためですか。

- ・S03 それは結婚につながるかもしれない大切なステップで、互いのことをよく知り、良い決定をすることができる。結婚するという決定もあれば、付き合うのをやめるという決定もある。たとえ別れることになったとしても、良い決定ができたので、失敗ではない
- ・S04 付き合ったら結婚するものだと決め付けたりせず、付き合うことについて独身の人だけでなく、私たちみんなが正しい見方を持つことが大切。

2. 互いをよく知るためにどんなことができますか。

- ・S05 「内面」をよく知る必要があり、自分の夫や妻になるかもしれない人がエホバとどれほど強い絆を持っているか、どんな性格や考え方をしているかをもっと知るようにする。例えば「この人は自分にとって良い結婚相手といえるだろうか」、「お互いが必要としている愛情や関心を示せるだろうか」、「お互いの欠点を受け入れられるだろうか」など。覚えておきたい点は、似ているところがあるからといって相性がいいとは限らない。大切なのは、互いの違いにどれほど合わせられるかということ

- ・S06 ほかにも、気持ちが高まり過ぎる前に、将来の目標など大切なことについて話し合っておく。健康やお金に関する問題やトラウマになっていることなど、プライベートな点についてもいつかは話合うことも必要かも
- ・S07 互いの内面をよく知ることができるよう、本当の気持ちを話し、質問し、よく聞く。人目がある所で一緒に散歩したり、食事をしたり、伝道したり会話を楽しみながら行えることを一緒にする。家族や友達と過ごす時にも、相手がいろいろな場面で人にどう接するかに注目して互いを知ることができる

- ・S08 一緒に聖書を学ぶのも、互いのことを知る良い機会になり、相手がエホバとどんな絆を持っているかを知ることができます

3. 会衆の仲間はどのようにサポートできますか。

- ・S14 食事や遊びや家族の崇拜に誘い、2人は互いのことをもっとよく知れる機会を作る。ほかにも、付き添いをしたり、車に同乗したり、家に呼んで2人がゆっくり話せるようにしてあげる
- ・S15 周りの人は、何を言って何を言わなかにも気を配る。誰かが付き合い始めたことを本人たちより先に他の人に伝えたり、2人についてうわさしたり、個人的な事柄について批判したりすべきではない。結婚しないといけないというプレッシャーを掛けるようなことを言ったり聞いたりすべきでもない
- ・S16 2人が別れることにしたなら、詮索したり、どちらかの肩を持つたりしない。本人たちは、傷ついた気持ちを引きずったり寂しく思ったりするかもしれない、周りの人は優しくサポートしてあげる必要ある

49番の歌 日々エホバに喜んでいただく

△一部の名前は変えてあります。

△ほかにも考えるとよい点については「若い人が尋ねる質問 — 実際に役立つ答え」第2巻 39-40ページを参照。

△相手の性器を刺激することは性的不道徳に含まれ、会衆の長老たちは審理処置を取る必要があります。胸を触ることや、メッセージや電話で性的に不道徳な内容の会話をすることも、状況によっては審理処置が必要になります。

△「ものの塔」1999年8月15日号の「読者からの質問」も参照。

△(ペテー3:4) 自分の内面*を飾りとしましょう。物静かで温和な精神という朽ちない飾りです。それは神から見てとても価値があります。

または、「内面の人つまり心」。

△(格20:25) 「これは聖なるものです」と性急に言った後で、誓約した事について考慮するのは、わなどとなる。

△(格20:25) 「これは聖なるものです」と性急に言った後で、誓約した事について考慮るのは、わなどとなる。

△(ペテー3:4) 自分の内面*を飾りとしましょう。物静かで温和な精神という朽ちない飾りです。それは神から見てとても価値があります。